



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0021
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第284号

神の僕として働くこと

先日、BS テレビで「サウンドオブミュージック」の再放送がありました。何度も見ているのですが音楽が素晴らしいので少し見ました。そこで主人公のマリアが迷っているシーンがありました。

修道院長は「あなたは信仰をどのように考えているのですか」と彼女に尋ねます。するとマリアは「**神の御心を知り、それを実行することです**」と答えます。そこからこの物語が進展して行きます。

今年もエルサレムにいる友人から年賀状が届きました。彼女からは毎年クリスマスか正月に便りが届きます。

彼女はパレスチナの小さな村の女性達を支援する活動をしているのですが、彼女の滞在も15年を超えたと便りに書いてありました。彼女が出発する前に広島で会い、観音町教会の食堂で深夜まで飲んで語り合ったことを思い出します。

その後、初めてイスラエルの旅をした時、東エルサレムのレストランで国連から派遣された女性も合流し3人で食事をしました。2人とも広島教区の信徒で、友人です。

イスラエルではユダヤ人地区からパレスチナ人地区への移動は非常に難しいのですが、一人はパレスチナの村へ、もう一人はガザ地区へ支援に通っていて、爆風で割れた学校の窓ガラスの話や検問を何回通るのかという

生々しい話を聞きました。

開発途上のある国で修道院の施設を見るチャンスがありました。その施設では親を無くした150名の少年たちを預かり養育と教育をしていました。その中の50名は犯罪を犯した少年で政府から預けられているということでしたが、全員を同じように扱うことで自立を早めていると聞きました。

この施設へは政府からわずかな支援金しか来ません。そのため修道院の司祭たちは世界中から支援をしてもらうことで資金難を乗り切っていました。この施設を訪問した時、休日で青年達がボランティアに来ていて、道や庭の整備など喜んで働いているのがとても印象に残り、このようなことが召命につながるのだと思いました。

神の御心を知り、それを実行している人たちはたくさんいます。四旬節を迎えるこの時期、自分に何が出来るのかももう一度考えて見てはどうでしょうか。(岩本 光弘)

今モーセの十戒を読み直す・・・	2面
お別れとお礼の言葉・・・	2・3面
委員会報告・・・	4面
典礼聖歌研修会について・・・	5面
子ども達のページ・・・	6面
教会学校のページ・・・	7面
おしらせ・小グループ紹介・・・	8面

「今、モーセの十戒を読み直す」No.9

さいたま教区長 谷 大二司教

第五戒

「殺してはならない」。これも、もう一度最初のポイントを思い出していただいて、個人ではなく民に向けられたメッセージであるという風に考えますと、殺してはならないというのは、国家の名のもとで殺人、処刑、過労死、虐待、いのちの尊厳(の否定)が、あるいは戦争も含めて行われていたということを指すのです。

エジプトで殺人を禁止する法律は、人が人を殺した場合(が対象)だったのです。国家が人を殺した場合には何の罪にも問われないと。これは今の日本の法律もそうです。個人が個人を殺したら違法だけれども、軍隊が戦争で相手を殺しても罪には問われないと、…どこの国でもこういう法律になっているかもしれませんが。その中で何の罪もなく殺されていく人たちを守る法律がなかった。ブラジルでもそうですし、フィリピンでもね、いろんな国で国家の名の下に次々と人々が殺されている現実が、私たちの目の前にもあります。

この抑圧のピラミッド・システムで、エジプトにいたときのイスラエルの民の一番の恐怖はこれだった訳ですね。殺されるということ、命の危機。だから解放された民にとって大切なことは、いのちの尊厳、いのちに関する権利、これであったのではないかと思います。

イエスは、裁きや報復ではなく、ゆるしによる和解を強調しています。そして、それを越えて貧しい者の叫びを聞く神、そういう姿勢をいつも前面に押し出しています。イエスは病人、貧しい者、差別された人たち、小さくされた人々の側にいつも立っていました。そして彼らの叫びを聞かれたのです。この命の尊厳、これは最終的には永遠の命にあずかる、という形でイエス様は完成に導いて下さっていると云えます。(次号へ続く)

お別れとお礼の言葉

神学科二年 古郡 忠夫

今日で昨年4月から行われていた水巻教会での司牧実習が終わります。

日曜日に、この水巻教会に来ることはとても楽しみでした。いつもは神学校で生活していますが、時々、なんのために自分は神学校にいるのかなんて考えてしまいます。神学校は少なくとも6年間行くところなんですね。小学校とおなじで、今私は4年目が終わろうとしています。

日々の生活で忙しさに追われていますので、閉塞感みたいな物があって、やっぱり苦しい時もあります。

もう同級生が4人も辞めています。他の修道会に入ったり、普通の仕事に戻って彼女が出来たり、貧しくされているホームレスの方々のために奉仕をする道を選んだ同級生もいます。私も色々考えたりします。

そんな歩みの中で、この1年水巻教会で奉仕をさせていただきました。

この一年間はあつと言う間の一年間でした。本当に多くの皆さんに関わっていただき励まされた一年間でした。

教会で皆さんとお会いし、少しでも声を掛けていただくことで、どんなに励まされたことか。神父様にも本当に親身になっていただいて、個人的に色々なお話をさせていただきました。みんなと教会学校をしたりすることで自分の歩みには喜びがあるんだということを、いつも感じさせてもらっていました。

この一年間、結局何もすることができず、与えられてばかりでした。色々な面で申し訳なく思っていることもあります。

しかし、この1年今までの人生の歩みを振り返ってみると、神様は、初めから私に能力があったから私を選んだのではなかったんだと改めて気づかされました。何か優れていることがあったから選ばれて神学生になったのではないのだと。

今日の福音(マタイ4章12~23節)で聴いたみ言葉の中で、イエス様は宣教に出かけられました。宣教をしているのはイエス様なのです。今の世にあってもイエス様なのです。イエス様は「私についてきなさい」とお呼びになって、一人ひとりを弟子にしています。その弟子も先に優れた能力があったから選ばれたわけではありません。

「私についてきなさい」とおっしゃる方が、良くないものをくださることがあるでしょうか。人は100%すべてを神様からいただいて生きるのです。

皆さんとの出会いによって改めて「自分がする」という生き方ではなく、「神様に使ってください」という道を歩むのだということに気づくことが出来ました。

これからも小さい私が、その小ささのゆえにイエス様の宣教活動により良く奉仕できますようにお祈りください。私も水巻教会と皆さんのために祈り続けます。

いただいたすべての恵に感謝してこれからも歩み続けます。本当にありがとうございました。



ホームレス支援炊き出し ~お弁当詰め、配送~ お手伝いをお願いします

ホームレス支援のための炊き出しを年2回行っています。信徒会館で10時から午後2時ごろまで、昼食をはさんで行います。おかずは総菜屋さんや焼き鳥屋さんに注文しますので、ここでするのは、ご飯を炊いて、弁当をパックに詰めることです。難しいことはありませんが、180食程度作りますので、人手が必要です。お気軽にエプロンだけ持って教会に来て、お手伝いくださると大変有難いです。これまでご参加くださっていた方々もお孫さんの世話や色々な用事で忙しくなっています。一人でも多くの方に参加いただくと助かります。

お手伝いしていただける方はアブドゥハン(691-4562夜)までご連絡をお願いします。

委員会等報告

2011年1月分

1月度小教区委員会

1月9日

1、前委員会の議事確認(一部のみ)

- ・街頭募金代替のチラシ配布(12月12日～)：役員による近隣の配布がなかった。
- ・クリスマス関連
ミサ参加：200名以上。
パーティー飲食：たき火は、ドラム缶の使用が良かった。
- ・豚汁100、ご飯100との計画であったがご飯はすぐ売り切れ、豚汁は余って3日間食べる事態に。
- ・豚汁では、行列を3列作りうる様な工夫が必要。食器(ポリ製)が不足した。
- ・ブレーカが落ちた。コーヒーマーカまでも使い電力オーバーのせいかな？
→結局、原因不明。
- ・子どもへのクリスマスプレゼントは連絡不足、および多忙を極め、できなかった。
- ・駐車：韓国会館の使用許可を直前に取ることができよかった。
- ・典礼：ミサ前クリスマスメッセージにおいて、突然暗くすることとなり混乱した。楽器の使用はよかった。

2、議題

- ・降誕祭の反省：1. と重なるので省略
- ・古郡神学生送別会：茶話会+プレゼントにする
- ・役員改選について
次の様な意見が出た。(結論は後記)
- ・立候補、続いて選挙を行う。担当を役員

会の事務局員以外に任せるべきである。
なお、その選挙は、この小教区委員会出席者人数を若干上回る人数にしたい。

- ・「立候補と選挙」を行うことは、妥当であると思う。
- ・同様な行程でよいが、小教区委員長、司祭が立候補を受け付けたい。
- ・小教区委員長は誰でもできるものだ。手助けする人は多い。クリスマスでの食事作りの例もそう。
- ・例えば4名が立候補したときはどうするか。
- ・その場で、必ず投票を行うべきである。(1名でも複数でも。)1名であったら、信任できるかどうか、という意味。

結論：

- ・1月23日、30日、2月6日に、司祭がミサで「立候補」を募るお知らせ。
- ・立候補者は、2月6日(同日実施の小教区委員会)までに、司祭か、小教区委員長に届け出る。但し、推薦人は置かない。

3、これからの活動予定

- 1月16日(日)聖歌研修会(深堀先生)
- 1月23日(日)古郡神学生送別会
- 1月29日(土)レプトン会黙想会(10時～15時) 田丸篤神父
- 4月22日(金)ホームレス炊き出し

典礼聖歌研修会について



研修会当日 1 月 16 日(日)は、大雪になるという天気予報が出ていました。真冬日の寒さながら、雪はありませんでした。深堀先生はお元気でミサ前の練習から、昼食をはさんで午後 2 時半までご指導下さいました。

ミサの後 11 時半までは古郡神学生を含めて約 50 名が参加しました。当日の入祭の歌「主をたたえよう」(典 131)は、強調するために語順が通常の文とは逆になっています。主をたたえる理由「主はいつくしみ深く、そのあわれみは永遠」が後にきています。わたしたちは洗礼によって神の祭司とされている。自分や自分の家族のためだけではなく、周囲の人々、水巻小教区地域の全住民に代わって主をたたえるからです。詩編部では、わたしたちが神の救いのわざを世界に知らせるという使命を歌います。引きつづき結婚式で歌う「愛のうちに歩む人は愛のうちに生きている」というアレルヤ唱(典 282)も練習しました。

今年は復活祭が 4 月 24 日と非常に遅い日程になっています。早めながら、折角のチャンスですから四旬節や聖週間の歌も練習しました。四旬節の入祭の歌「神を求めよ」(典 311)や受難の主日の入祭「過越祭の六日前」(典 316)を 1 年ぶりに歌いました。聖木曜日の奉納の歌「愛と いつくしみのあるところ」(典 322)や聖体賛美の歌「神は残された 不思議なわざの記念を」(典 61)は聖週間に限らず聖体拝領の歌としてもいいのではないかといわれました。



午後 1 時から、約 10 名が聖堂 2 階に集まりました。復活徹夜祭の 3 つの詩編「神よ あなたはわたしの力」(典 79)「神の注がれる目は」(典 46)「神はわたしを救われる」(典 65)を練習しました。復活賛歌(典 342)は、神学生に司祭部分を歌っていただきました。

お茶を頂きながら、大名教会の様子も伺いました。今春は神学生 2 名の叙階があるそうです。最近はタイガーマスク現象として一般市民の善意が注目を集めています。大名教会では、教会の活動や役割を細かく拾い上げてリストを作り、参加募集をしたところ延べ人数 100 名の記入があったそうです。面白い試みです。水巻教会でもやってみる価値がありそうです。

典礼委員 矢田公美



誰が、いつ、どこで神様と契約をしたのでしょうか。神様と契約した話を調べて見ましょう。ここで面白いのは、この契約で人間が神様と契約するのではなく、いつも神様がさきに契約すると言ったのです。

最初に神様が約束したのはノアという人です。創世記6章から9章17節に書いてありますので、その話を簡単に紹介します。

この世に人が増えてきたところから話が始まります。

人々は神様の言うことを聞かない悪い生活をしていました。そのため神様は「わたしは人を創造したが、人だけでなくすべての生き物を世界から無くそう」と言いました。

この時、ノアという神様にしがった生活をしている家族がいました。ノアにはセム、ハム、ヤフェトという3人の息子がいました。

神様はノアに大きな箱の船を造るよう言いました。その船は長さが140m、幅が22m、高さが14mの大きな船で、3階建てでした。

そして神様は、その中にすべての生き物のオスとメスを一組ずつ入れるように言われました。ノアの家族が入って扉を閉める

と七日の後、40日40夜の間は雨が降りました。そのため地上は洪水になってすべての人や生き物が死んでしまいました。

雨が止んでからも水は150日過ぎても減りませんでした。風が吹き始めたので水が減ってきて、船はアララト山という高い山のの上に止まりました。

そのうちに山の頂上が出てきました。それからノアは船の窓を開けてカラスを飛ばしましたが、カラスは留まるところがなかったため窓から出たり入ったりしました。次に鳩を飛ばしましたが鳩も留まるところがなくて戻ってきました。

7日たってからもう一度鳩を飛ばしました。すると鳩は夕方にオリブの葉をくわえて帰ってきました。その後水がなくなったのでノアはすべての生き物を船から降ろしました。

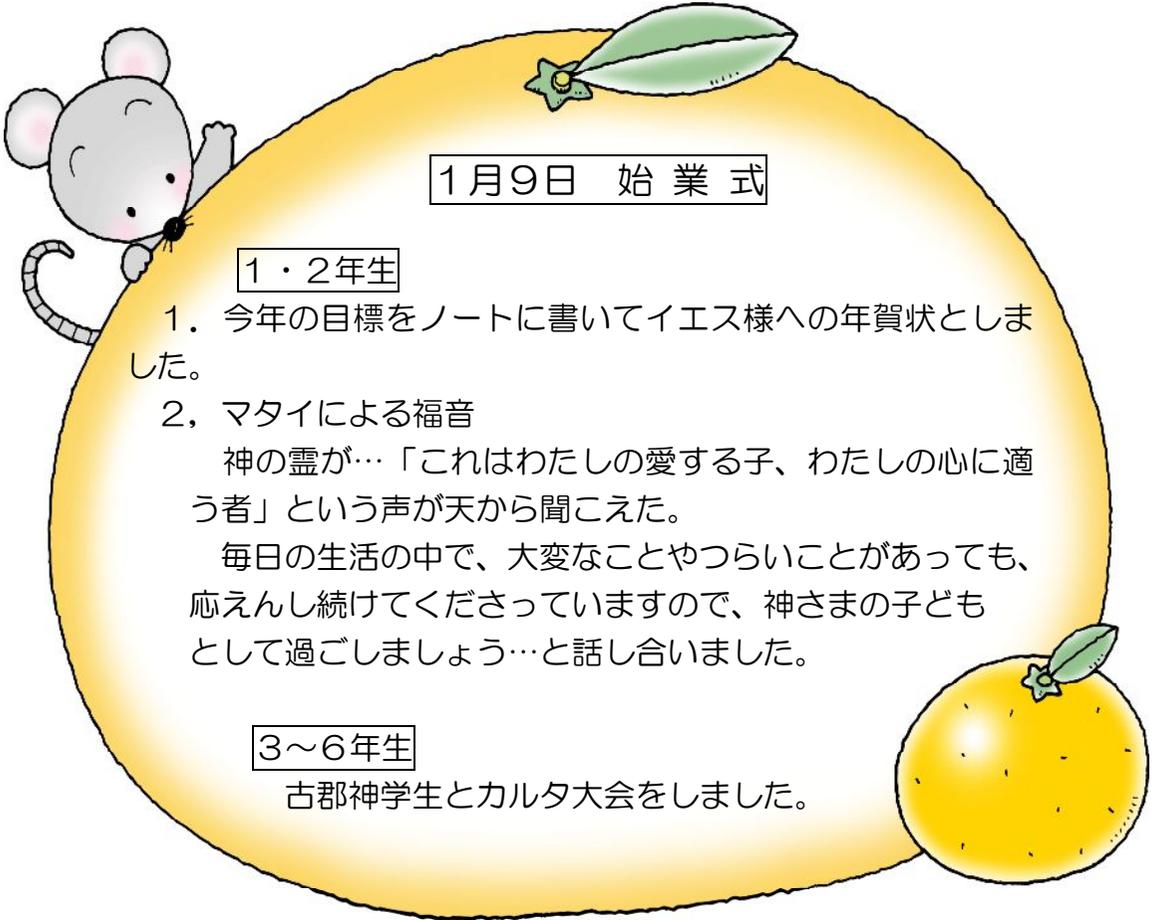
神様はノアと彼の3人の息子たちに言いました。「産めよ、増えよ、地に満ちよ。わたしは、あなたたちと、そして後に続く子孫と、契約を立てる」

更に神様は言いました。「あなたたちとの契約のしるしはこれである。わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これはわたしと大地との間に立てた契約のしるしとなる」

空の虹は神様がみんなを見ているというしるしなのです。



教会学校のページ



1月9日 始業式

1・2年生

1. 今年の目標をノートに書いてイエス様への年賀状としました。

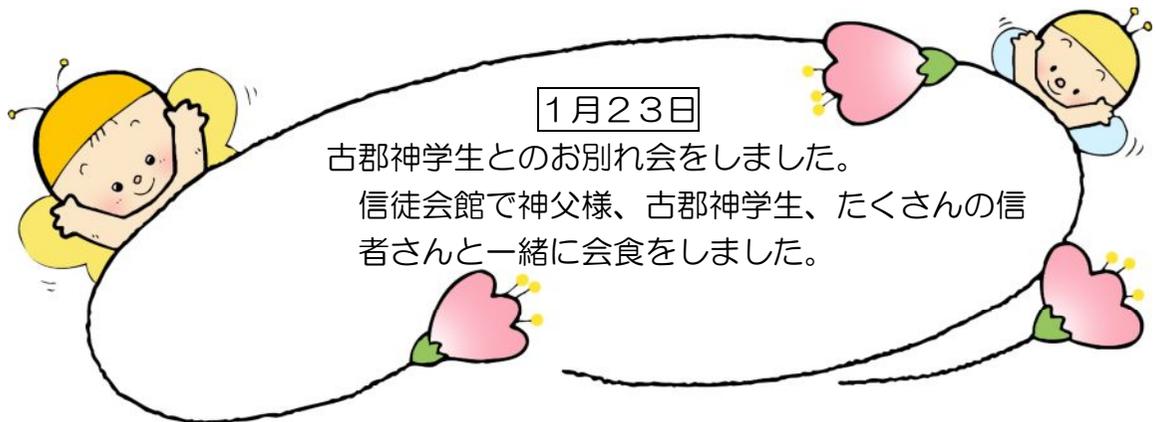
2. マタイによる福音

神の霊が…「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が天から聞こえた。

毎日の生活の中で、大変なことやつらいことがあっても、
応えんし続けてくださっていますので、神さまの子ども
として過ごしましょう…と話し合いました。

3～6年生

古郡神学生とカルタ大会をしました。



1月23日

古郡神学生とのお別れ会をしました。

信徒会館で神父様、古郡神学生、たくさんの信
者さんと一緒に会食をしました。



★待降節の募金★

歳末助け合い募金	30,938円
子ども達が集めた募金	44,343円
合計	75,281円

これを次のように届けました。

カリタスジャパンへ	45,281円
美野島司牧センターへ	20,000円
水巻町社会福祉協議会へ	10,000円

皆様のご協力ありがとうございました。

★特別献金★

クリスマス特別献金	28,275円
-----------	---------

ご協力ありがとうございました。

★特別寄付★

折尾地区の渡辺イサ子様よりご寄付を頂きました。

人ひと

【帰天】安らかに

12月17日

渡辺 勉さん(折尾地区)

【結婚】末永くお幸せに

1月15日

川原 繁さん

吉田 由梨子さん(中間地区)

小グループ紹介シリーズ

シバの会

月に一度の第3木曜日で10時～12時までです。5～6人集まっています。

少ない時もありますが、いつも神父さまが来られ聖書と典礼を読んでわからないところを神父さまに聞いています。

でも、いろんな意見が出て脱線することもあります。また、神父さまもときには世間話をされることもあり違った一面を見ることもあります。

9月には召命を共に送る会の御ミサが水巻であり、その時シバの会のみんなで掃除してお茶出しをしたこともあります。

これがシバの会です。

どうぞ皆さん仲間入りしませんか！